

東亜大学校石堂学院（韓国・釜山） × BankART1929 共同シンポジウム

동아대학교 석당학술원과 요코하마 بانک 아트 협동 워크샵

地域・ネットワーク・オルタナティブスペース 지역・네트워크·대안공간

日時 2011年2月24日（木）13時00分～19時20分 参加費 無料（懇親会参加は別途1,000円）

会場 BankART Studio NYK 2F ライブラリー（横浜市中区海岸通3-9 みなとみらい線馬車道駅徒歩5分）

이 공동 심포지움은 한국의 부산에 위치한 동아대학교 석당학술원에 의해 제안된 것입니다. 전체 테마는 “지역·네트워크·알터네이티브 스페이스”로서, 동아대학교 석당학술원 연구원에 의한 연구의 보고와, 요코하마의 코토부키초에 자리한 “요코하마 호텔빌리지”를 통하여 활동하고있는 오카베토모히코(岡部友彦)씨의 보고, 그리고 BankART1929에서의 사업설명과, 현재 한국과 일본을 무대로 활동하기 시작한 “숙·조선통신사”를 보고하며, 서로의 의견을 교환하고자 합니다. 많은분들의 의견을 듣고싶으며, 여러분의 참가를 기다리고 있습니다.



金萬錫が企画した展覧会 <post war : 総力体制と日常> Space Bandee, 2010

金 萬錫 キム・マンソク

2001年 - 2003年：批評専門誌『今日の文芸批評』編集長

2006年：釜山大学校国語国文学科博士課程修了

2006年 - 現在：オルタナティブスペース Open Space BAE 運営委員

2006年 - 現在：オルタナティブスペース Bandee（釜山国際ビデオ

フェスティバル）審査委員、〈企画公募展〉審査委員

2009年 - 現在：月刊美術文化雑誌『B-art』編集委員、詩専門季刊誌『新生』編集委員

2011年：〈釜山青年作家賞〉運営委員長 その他、多数の美術批評、文学批評等



逃走、密航、美術 - 地域美術の歴史的形成とその内外

これまで、地域（地方）美術は劣っているものとして位置づけられたり、地方色が強すぎて閉鎖的なものとして見なされたりしてきた。こうした地域美術に関する理解は、地域と中央との葛藤を表すものであり、この対立的で抵抗的な関係を越えて地域美術を定位し確立させることは困難なことであった。つまり地域は狭小な共同体や連帯しにくい空間として理解されたのである。しかし、「解放」と「韓国戦争」の経験は地域美術を理解する方式の変換を要請してきた。1950年代、日本で活動した在日美術家のチョ・ヤンギョと釜山で活動したキム・ソンシクの仕事を通して考察すれば、地域美術に関する新しい理解が浮上してくる。

張 秀熙 チャン・スヒ

東亜大学校 博士課程 修了

東亜大学校 石堂学院 韓国学研究所 専任研究員

地域での自生的な提案人文共同体の活動に興味をもっている。

さらに文学作品での日本軍慰安婦の再現問題について研究している。

主要著述：「日本軍慰安婦の再現問題」など。



釜山地域における「人紋」共同体の地図描き - その現況と展望

韓国で地域（地方）に住んでいる研究者において地域の人文空間は人文的実践と研究ネットワークの場として機能している。最近躍進している釜山地域の小規模な人文共同体の活発な集まりと実践の現況は、釜山地域内の人文研究者たちがどんなアイデンティティを持っているかを現わすものである。それらをベースとし国境を超えて他の地域の研究者達との人文的実践と研究ネットワークの方向及びモデルを構想することができるでしょう。

■東亜大学校石堂学院 参加者

権 明娥

東亜大学校 石堂学院 文化コンテンツ研究所長 東亜大学校 国語国文学科 教授

制度的な文学研究や国文学研究の範囲を超えて歴史、文学、文化を含めた研究と著述を行う。

主要著述：「家族ものがたりはどのように作られるのか」、「歴史的なファシズム-帝国のファンタジーとジェンダー政治」、「蕩児らの自書伝-家族ロマンスの内と外」、「『風紀紊乱』と情念の居場所：愛の空間からアゴラにいたる風俗統制の力学」（『文学』、2010、3・4月号）

金 大成

東亜大学校 石堂学院 文化コンテンツ研究所 専任研究員 文学評論家

釜山大学校 博士課程修了。2007年「作家世界」新人賞。詩専門季刊誌「新生」編集長。韓国戦争と近代国家体制構築後の冷戦体制下の文化に関心をもち、また地域談話のあり方について考察中。主要著述：「地域というアポリア」、「終焉以後の時空間と主体性」、「不可能な共同体」など。

申 賢娥

東亜大学校 国語国文学科 修士過程。最近の世代論と貧困 / 反貧困論に興味をもっており1970年代の青年文化を研究している。主要著述：「オタクについて」など。



韓国と日本のアーティストやアート関係者、クリエイターと BankART メンバーからなる約30名がソウルを起点に朝鮮通信使ゆかりの都市を中心に巡る二十数日間のキャラバンを行った「続・朝鮮通信使」プロジェクト。（釜山にて2010）

岡部友彦 おかべともひこ

1977年 神奈川県生まれ。東京大学大学院建築学修了。コトラボ合同会社代表。2004

年から横浜寿町を拠点にヨコハマホステルヴィレッジなど地域活性化プロジェクトを行っている。"モノ"づくりではなく、"コト"づくりからまちづくりに取り組むかたちで、街のイメージチェンジを行うのと同時に、街の資源を活用し、新たな産業を創る取り組みを行っている。2008年、横浜文化賞文化・芸術奨励賞受賞。



池田 修 いけだおさむ

BankART1929 代表・PHスタジオ代表。1984年都市に棲むことをテーマに美術と建築

を横断するチームPHスタジオを発足、現在にいたる。2004年から BankART1929

の立ち上げと運営に携わる。同年、文化庁による「NPO 等による文化財建造物の保存・

活用の推進に関する実践的研究」委員。2008年より横浜市文化財施設指定管理者外部評

価委員。2009年、第58回芸術選奨文部科学大臣新人賞【芸術振興部門】受賞。



参加申込み方法

(1) お名前、(2) 職業（学校名）、(3) メールアドレス、(4) ご住所、
(5) お電話番号、(6) 懇親会参加の有無を明記の上、
info@bankart1929.com まで、メールにてお申込ください。

問合せ BankART1929 info@bankart1929.com TEL045-663-2812